



2026年2月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 L O I V E
代 表 者 名 代表取締役社長 前 川 彩 香
(コード番号: 352A 東証グロース市場)
問 合 わ せ 先 取締役 管理部 GM 代 田 将 己
TEL. 011-299-2730 (代表)

2026年3月期の通期業績予想修正に関するお知らせ

当社は、最近の事業環境及び業績動向を踏まえ、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期の通期業績予想を修正することと致しましたので、お知らせいたします。

1. 2026年3月期の通期業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

【個別】.

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,315	百万円 1,420	百万円 1,369	百万円 914	円 銭 72.55
今回修正予想 (B)	11,420	650	550	335	26.38
増減額 (B-A)	△895	△770	△819	△579	-
増減率 (%)	△7.3%	△54.2%	△59.8%	△63.3%	-
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期通期)	8,492	1,004	930	500	40.59

2. 修正の理由

当社が成長事業として最大限注力しているマシンピラティス専門スタジオ「pilates K (ピラティスK)」について、市場が急拡大しているが故に、今期に入り競合他社の出店加速や広告強化、また新規参入事業者の増加などが想定以上に多くなりました。この結果、業界全体において有料広告単価の上昇や、無料集客(広告を使わず検索エンジン経由で自社サイトにアクセスし予約)の減少が想定以上に進むこととなっております。

このような事業環境を踏まえ、当社では引き続き積極的に成長市場のシェア拡大に注力し、将来的に大手による寡占市場に移行する際に確固たる地位を確保することが、中長期で売上や利益、そして企業価値を最大化することに繋がると判断し、期初に想定していた出店加速の方針を堅持するとともに、特に第2四半期からは全社的にコストコントロールを強化して広告宣伝費の原資を捻出し、当初予算を上回る広告宣伝費の投資を実行して有料集客を強化しました。この成果として、同期間において競争環境がもう一段厳しくなったことから無料集客の落ち込みを全て補うことは出来ませんでしたが、第3四半期末まで会員数の着実な積み上げを実現出来ております。

また、年が明けて第4四半期に入ってからは、無料集客割合が回復するとともに有料広告単価も下落する中で好調な集客を実現するに至っており、寡占市場で大きなシェアを確保するという戦略の成果が出つつあることを確認しております。第4四半期の集客は、広告宣伝費は今期に発生するが売上や利益への貢献が来期以降となるため、今期業績に対してはマイナス方向で影響しますが、当社の会員継続期間を考えると来期及び再来期に大きなプラス貢献をもたらすこととなることから、第4四半期においても積極的に広告宣伝投資を行うため、この度業績予想の変更をさせて頂くことと致しました。ここでの成果から得られる売上及び利益を原資に、来期も引き続き寡占化戦略を推進及び完成させ、将来の企業価値向上に繋げて参りたいと考えております。

なお、コストコントロールには引き続き全社的に取り組むと共に、物販の強化や新規事業であるHR事業の早期立ち上げも行うことで、集客未達に伴う売上減少や広告宣伝費の増加に伴うコスト増加の影響を抑制しております。

(具体的な修正額)

当社の売上高は大きく会費売上高と物販売上高に区分できます。会費売上高はスタジオに入会いただいた会員様からスタジオ利用料として收受する売上高、物販売上高は会員様に商品を販売することで收受する売上高となります。

上記の事業環境及び経営判断の結果、2026年3月期通期の会費売上高は上記のとおり集客未達により会員数が当初計画より1.8万人下回る見込みとなった結果、当初計画11,558百万円に対し、修正計画10,575百万円（前回予想差△983百万円）となります。また、物販売上高は上記のとおり強化を図った結果、当初計画757百万円に対し、修正計画845百万円（前回予想差+88百万円）となります。

なお、この内訳となる店舗数及び会員数の当初計画値及び修正計画値は、以下のとおりです。

	2026年3月末 (当初計画)	2026年3月末 (修正計画)	前回 予想差	(ご参考) 2025年3月末
店舗数	206	200	△6	150
(内訳)				
ホットヨガスタジオ 「loIve（ロイブ）」	67	68	+1	64
マシンピラティス専門スタジオ 「pilates K（ピラティス K）」	129	125	△4	80
その他	10	7	△3	6
会員数（万人）	10.0	8.2	△1.8	6.2

※ピラティス K の店舗数は、当初計画では標準型店舗39店舗とテスト目的の小型店舗10店舗で合計49店舗の出店を予定しておりましたが、上記事業環境を鑑みて標準型店舗による市場シェア獲得を進めるため、小型店舗8店舗を標準型店舗4店舗へと変更しております。また、ピラティス K に経営資源を集中させるために、その他ブランドの出店数を当初計画より3店舗減少いたしました。

また、広告宣伝費については第3四半期までで231百万円（当初計画709百万円に対し、実績940百万円）の追加投資を実施するとともに、第4四半期で205百万円（当初計画240百万円に対し、修正計画445百万円）の追加投資を予定しております。

以上の結果、2026年3月期通期の売上高は11,420百万円（前回予想差△895百万円）、営業利益は650百万円（前回予想差△770百万円）、経常利益は550百万円（前回予想差△819百万円）、当期純

利益は 335 百万円（前回予想差△579 百万円）に修正いたします。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。